

シリーズ

健康あるある

ただしい「手洗い」できていますか？

2017

1

vol.47



皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は皆様にとってどのような年であったでしょうか。私にとっては4月に院長を拝命してからあっという間の一年でした。院外においては地域の先生方との顔の見える関係を築くべく地域連携室のメンバーと院外活動を行ってきましたが、未だ道半ばで、今年も継続していくたいと考えています。

また、地域医療構想に明け暮れた一年もありました。沖縄県医師会、中部地区医師会、公務員医師会、その他の地区医師会などが活発な議論を行った結果、地域住民に安心・安全な医療が提供できるような沖縄県独自の地域医療構想が策定される見通しです。

一方、院内においては念願の電子カルテが10月から稼働しました。電子カルテの操作で時間が掛り、特に外来などでは患者様に待ち時間などでご不便をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

しかし、時間とともに職員も操作に慣れ、なるべくご不便をおかけしないよう努めしておりますので、ご理解いただきたいと思います。

その他に、3月には外来にコーヒーショップをオープンしました。外来での癒しのひとときを過ごしていただいているでしょうか。さらに癒し空間として、年末には外来前に約120平米の花壇を作りました。

今年は安心・安全の医療の提供はもちろんのこと、患者様、職員がくつろげるアメニティを更に拡充したいと考えております。皆様にとって充実した一年でありますよう祈念致します。



【催し物のご案内】

- 1/19(木) 平成28年度地域医療連携新春懇談会
- 1/26(木) 第86回ゆんたく会 第1会議室 14:00~15:30
- 2/28(火) 第87回ゆんたく会 第3会議室 14:00~16:00
- 2/22(火) がん啓発イベント「がんを知ろう！」IN 読谷



pickup!

N B C 災害訓練

[地域連携総合支援センター便り]
[平成28年度 がん啓発イベント]

pickup!

N B C 災害訓練



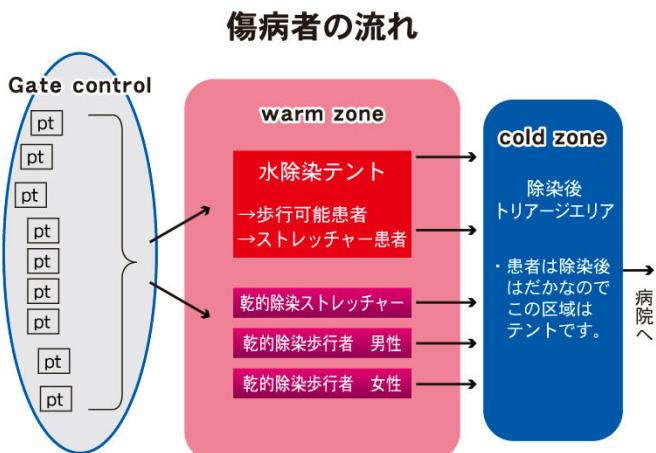
当院では、毎年災害訓練を実施しています。今年は11月24日(木)にCBRNE(=NBC)災害訓練を行いました。CBRNE災害とは聞き慣れない方も多いでしょうが、化学(chemical)・生物(biological)・放射性物質(radiological)・核(nuclear)・爆発物(explosive)の頭文字をとって、これらによって発生した災害を称します。日本では過去に原子爆弾(N)による災害、東海村JCO臨海事故(R)、また松本サリン・地下鉄サリン事件(C)、アメリカでは炭疽菌事件(B)、他自爆テロ(E)による災害などが挙げられます。

今回、私たちは「近隣地区の某体育館で何者かが液体(C)のようなものをばら撒き、その後から気分不良や意識障害など多数の傷病者が発生している」との想定で受け入れ訓練を行いました。通常の災害時の傷病者受け入れと違い、患者が吸入したあるいは患者に付着した有害汚染物質を排除しなければ病状が進行する

可能性があるという他に、汚染が拡大して周りにいる医療従事者にも被害が生じる可能性があります。二次災害を避けるために病院職員は防護服を着用し、来院する傷病者を入り口でコントロール(Gate control)し、すぐに院内には入れず、必要なら除染エリアへ誘導して除染を実施し(warm zone)、その後、トリアージエリア(cold zone)で患者の重症度を把握し診療優先順位をつけていきます。このゲートコントロールとゾーニングが非常に重要になってきます。

午前10時30分の発災号令とともに訓練が開始され、各エリアでの初動と運営を確認していました。2時間の訓練でしたが当院では初となるCBRNE災害対応訓練であり多くの改善点も見つかり、今後の対策を考える上で実り多い訓練となりました。

救急センター 医師 豊里尚己



地域連携 総合支援センター 便り

4号

がん相談支援センター

あけましておめでとうございます。

今回は「がん相談支援センター」を紹介させていただきます。

がん相談支援センターは、全国の地域がん診療連携拠点病院に設置されており、中部病院では地域連携総合支援センター内に併設されています。がんに関する相談を受け、情報を提供し、一緒に考え、不安を解消するためのお手伝いをしています。がんと診断されたご本人やご家族は、それぞれに不安や悩みをもっています。そのような時には一人で悩まずに「がん相談支援センター」へご相談ください。がん相談専門の看護師やソーシャルワーカーと一緒に考え方をお手伝いを致します。

相談の方法は、電話や面談があり、来院前にお電話をいただければ疑問質問等に関する資料も準備できることあります。予約は必要ありませんが、なじに担当医はじめ、他の人に伝わることはありません。ぜひ安心してご相談



沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

相談対応日時 平日 月～金 9時～17時
☎ 098-973-4111 (内線3232)

ください。
病院を訪れた方が、気軽に、がんの情報に触れることができるよう、外来や病棟にはがん関連のパンフレットやがんサポートハンドブックを置いています。がんサポートハンドブックでは、がんと診断された患者さん・ご家族が活用できる相談窓口や、患者会の情報、経済的サポートや社会福祉制度など、がん治療過程のおおよその流れに沿ってまとめられていますので、ぜひご活用ください。

がん相談支援センター
がん相談員 島袋 幸代



平成28年度 がん啓発イベント 「がんを知ろう！」



掲載写真は、昨年うるま市の健康福祉センターうるみんでイベントを開催した様子です。乳がんと婦人科がんの講演の他、乳がん触診モデルの展示やがんに関するパネル展示、相談受付を行いました。多くの皆さんにご来場いただき、がんに関しての知識を深めて頂ける良い機会になったとご好評いただきました。

平成29年2月22日(水)にも、読谷村の地域振興センターで大腸がん、前立腺がん、がん予防の講演を中心とした同様のイベントを開催予定ですので、是非お立ち寄り下さい。関係者一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

がんを知ろう！

がんの予防、検診、治療に関する正しい知識を持つことで、がん検診受診率の向上を目指し、がん患者及びその家族の不安や疑問の解消を図ることを目的にがんに関する情報の普及・啓発のためのイベント。

平成29年
2月22日(水)
13:00 ▶ 16:00

開催日時

対象

内容

開催場所

読谷村民を含む施設来場者

中部病院、読谷診療所
医師・看護師等による

◆ミニ講演会
◆がんに関する相談対応
◆パネル・乳がん触診モデル展示
◆呼気一酸化炭素検査体験

読谷村地域振興センター
2階 大会議室

参加申込不要
参加費無料

<講演会プログラム>

13:15～ 演者：中部病院 院長 本竹秀光

13:30～ 講演① 医師が語る～大腸がんの早期発見・予防法～

中部病院 外科医長 伊江得史 先生

14:20～ 講演② 専門医と考える～前立腺がんのすべて～

中部病院 溝原眼科部長 島依裕一 先生

15:10～ 講演③ がん予防のために知っておきたいこと

読谷診療所 所長 山城正明 先生

主催：沖縄県立中部病院 後援：読谷村

お問い合わせ：沖縄県立中部病院 俺路課 がん事務局

TEL:098-973-4111

日 時 2月22日(水) 13:00～16:00

対 象 読谷村民を含む施設来場者

開催場所 読谷村地域振興センター2階大会議室

ただしい「手洗い」でできていますか？

健康 あるある



新年あけましておめでとうございます。

みなさんは食事の前、トイレの後には手を洗っていますか？

小さいころから親に「手洗いしなさい」と言わされた事が一度はあると思います。

手洗い後の効果を知る機会はなかなか無いので自己満足になつていてる方も多いのではないでしようか。家の中や外には、

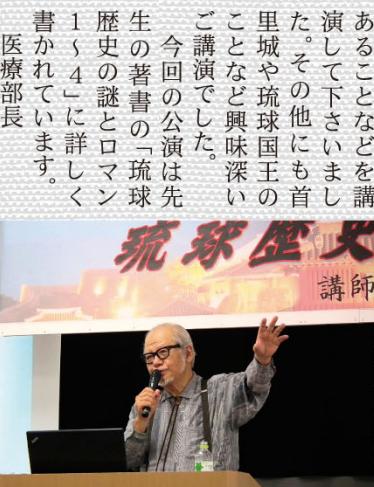
目に見えないたくさんの菌・ウイルスが付着しています。

その菌やウイルスを知らないうちに持ち込んだり、もちだしたり、ひろげてしまつていてることが考えられます。そこで、重要な予防策はやっぱり「手洗い」なのです。みんな、わかっているけどなかなか出来ないのが「手洗い」です。指先だけ洗っている人はいませんか？水だけで流して終わっている方もいるのではないかでしようか？一番簡単で効果のある感染予防策でありますながら、不十分である事が現状です。

手洗いの方法として、流水と石鹼を使用して15秒以上は洗つてください。手の平は一生懸命洗う人が多いかもしれません、一番よく使う指先、親指、指の間、手首は不十分になります。また、せっかく手洗いしても濡れたままだと菌を移動させやすくするため乾燥させる事が大切です。

みなさんも、感染予防のために「ただしい手洗い」を日頃から実践しましょう。

感染管理認定看護師 富山辰徳



平成28年度互助会主催文化講演会



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。

11月9日17時30分より恒例の文化講演会を開催しました。今回は亀島靖先生をお招きして「琉球歴史の謎とロマン」のテーマでご講演をお願い致しました。亀島先生は、琉球の歴史とロマン劇作家であり、琉球放送ラジオで毎朝月曜から金曜まで6時30分より「おもため歴史ゼミナール」を担当され、琉球の歴史を紹介しています。

先生は日本最古の縄文人の骨格は具志頭村で発見された「港川人」であるから始まりウチナーンチュウの祖先はどこから来たのか、沖縄のゴホウラ貝の腕輪が黒潮海流に乗り、本土各地の遺跡で発見されていること、ローマ帝国の銅貨が勝連城で発見されたことなど、沖縄が地球規模のダイナミックな歴史の中に

あることなどを講演して下さいました。その他にも首里城や琉球国王のことなど興味深いご講演でした。今回の公演は先生の著書の「琉球歴史の謎とロマン」1~4に詳しく書かれています。

県立病院・リレー連載 病院歳時記

周産期センター副看護師長
(現在、湘南国際浦添看護学校職員派遣研修中)

4月から職員派遣研修で看護教育に携わっている高山です。看護の初学者である看護学生や看護教員と関わることで、臨床では得られない多くの学びをしています。私の業務は、学内での授業、基礎技術の演習やテスト、課題であるレポート類や技術の手順書などの準備が主ですが、慣れないことばかりですので、毎日が目まぐるしく過ぎています。その様な中でも、学生たちの看護する喜びや気づき、学びを肌で感じることができの環境は得難いもので、与えて頂いた機会に感謝と感動の連続です。

また学校では、さまざまな課外授業も充実しており、1年生の基礎看護実習、3年生の母性、在宅、統合実習、ケーススタディ指導などにも携わっています。この多様な教育は、学校の教育理念愛・智・技にあるような「職業人」を育成するため、日々指導にあたつている教職員の方々の弛まぬ努力の上に成り立つているものだと敬服しきりです。今後の展望としては、この経験を活かし、継続した人材育成ができるよう学校・看護教員とのより一歩踏み込んだ連携強化に努めたいと思います。学生のみなさんぜひ一緒に働き、そして成長していきましょう！

沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281
TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] 098-973-2703
[地域連携室] 098-982-6568



沖縄県立中部病院

検索

ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>